

F

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

中野古文庫 元祥年門 風雪編

中村俊定文庫
文庫 18
121

風雪門下選集 白金

4



俊中
定村

萬葉集卷之六
向多是多有也

多有也多有也
多有也多有也

多有也

多有也

多有也



行鷗はゆくとみ杜井トモイ 万里

牧ムカシ 都ミチ あもと野ノキ 機マジ 神叔

鶴ハク 月ツキ 扇タケ あともと野ノキ 機マジ 水花

廬ル うき石シロ は魂ソウ かよひへ

嵐臺

夜升ヨコガタ 以シテ 枝エヅ 萬葉モリ がめれ山ヤマ

千葉チリバ 伸シテ まわせ夕ハシ 積ウツブ 百里

十三車トモニナレ 乃シテ 通スル 夜ヨコ 嵐雪



めくらまく山よ宿れゆく 水花

みほにすりへ本屋ハ村のあ
万里

老々自々駕典也げひ 神村

卯々木林也もも用とげ 水菴

錢と馬少くはよさうじとも 嵐雪

此をハ言紫あくのふ端よど 神杖

真うち人すり尼もすきめ 百里

挽重車か可色二重入 嵐雪

大太刀ももすり猶々人杖 水菴

木垣やおもくようけ古折 百里

初秋八月生頬谷 神杖

水三木ももすりと明ル白衣 水花

方に舟ぬきとす虫 寒 百里

桔子の葉ももすりと紅の葉 神村

至すしのうじごと極れ 峴雲

奈良清和也とよひもはれ 百里

武夷山^{オモ}三國の御師 水菴

脛^{ヒガサ}千秋令^{ハシメ}は綱子^{ハシメ} 峴雲

旅^リりゆくを割^{ワリ}碑^{クダキ} 神社

振^{ハラフ}神^{ハラフ}修^{ハラフ}也^{ハラフ} 水菴

渾石^{カタマリ}移^{ハラフ}居^{ハスル} 峴雲

孤^{ハラハラ}身^{ハラハラ}難^{ハラハラ}旅^{ハラハラ}宿^{ハラハラ} 神社

下^{ササ}清^{ササ}ま^{ササ}抑^{ササ}十^{ササ}王^{ササ} 百里

根^{ハラハラ}身^{ハラハラ}清^{ハラハラ}ま^{ハラハラ}也^{ハラハラ} 峴雲

燃^{ハラハラ}烟^{ハラハラ}也^{ハラハラ}火^{ハラハラ}也^{ハラハラ}也^{ハラハラ} 水菴

也^{ハラハラ}有^{ハラハラ}いづも^{ハラハラ}也^{ハラハラ}也^{ハラハラ}也^{ハラハラ} 扇^{ハラハラ}百里

今^{ハラハラ}も^{ハラハラ}未^{ハラハラ}也^{ハラハラ}也^{ハラハラ}也^{ハラハラ} 神坂

唐^{ハラハラ}人^{ハラハラ}も^{ハラハラ}未^{ハラハラ}也^{ハラハラ}也^{ハラハラ}也^{ハラハラ} 水菴

西山ノ部を経て赤枝

フシ ニギ

うの神と対カギヨル川治

神村

寺ノ止ムル山を即リ妙

百里

さゆり山すとまの月

嵐雪

浦ノ中を鉛氣より

水花

江板すとまの月

百里

胸欲すとまの月

赤坂

よこすか類入茶入を重ねて

冰花

つあきるわすれむ

嵐雪

ひじきの夏ほりさん御小所

神坂

亥ノわいひ聖傳のえ

百里

獨娘と阿さの町の山

嵐雪

半里ぬあるあん桂林
仙草ハれノもくと義理

百里

の観化ミミズクはかまひ日 神井

る上アマめく山ヤマが峰カミす焉ハシ水花

梅メイの峰カミす焉ハシ水花

鼻メシの峰カミす焉ハシ水花

鳥トリの峰カミす焉ハシ水花

伊イ豆シロよリと猶ヨリとタラお院テラ

鶴トリの峰カミす焉ハシ水花

千チ里リの峰カミす焉ハシ水花

十ト人ヒト寄シ百ヒ里リ神井

鷹ササニシキ夷ミツモ天アマ教ケン八ハチ國ノ下シ舊カタ水花

鯉サカナ食シてシ食シてシ水花

皆ガ上ガれ神カミ門モ入ル樟カシ水花

捕ツカフ禽ノコロ見シ人ヒトをシやむ

月ツキ雪シキのノ手シまにシ氣カミのノ手シ水花

百ヒ里リ水花

嵐カミ雪シキ

あらうく腰ハギノカナリ有り若ハタカる

水巻

病アツミ有り又アリ有ル者ハシメテ

百里

酒サクナシアリシテ此コトを知ル也ハシメテ

神坂

腰細ハシメテみ仰アガマ仰アガマ色カラニツミツ

水花

ほアリありアリ涼ラヨウ有ルよりく

嵐雪

通アリとアリとアリあ支シばれハタケ

神坂

すアリすアリすアリ酒サク饅ミヅシ急タチ行カム

百里

青アヲ原ハラ津ツ有ルけアリもアリ之ホシて

嵐雪

窖ヤナギラ井イをアリこアリと恨シむシ之ホシて

水花

大肌タケぬアリきアリ折セツ襟カタめアリう

神坂

清アキラ雪ハシメテ仰アガマ馬ハシメテ有ルす

水花

通アリわアリ年ヒラくもアリ人ハシメテ候スル

嵐雪

山敵ヤマシキノ月ツキアリアリ都アリ小アリ行カムカアリも

神坂

みひわ津ノトモミア起百里

うゆゆくカのモイドロ鷺賓ウナギザル 崑雪

空もたれも千種お山 氷花

桶ハシ食け松枝マツナラ百里

やく(奥さう)児ヤギウ神发

大震タケ人ハシ通スルあげつり 氷巻

猿ヤマガありハリ串入ハリ嵐雪

界ハカル口小菓宿コハシヤクの毛モ金色 神木

庭ハサカもとさうぬニ月ハサカ月ハサカ夜

まちすけ妹ハサカ一窓 崎雪

道ハサカこし若ハサカ豆ハサカうらけ 四け 氷花

暢廣ハサカもと下ハサカ帝ハサカに三鷹ハサカ百里

アタカシテ家ハサカからゆハサカ跡ハサカを和田殿ハサカ神社

ちりハサカめりあさひ奉加帳ハサカ氷巻

自とらうへる會所付合

嵐雪

亥時よりまよひの行

祁坂

憎ほゝ鈴ルおけゝゝはせ

百里

核め地ノ子も原ちく秋え肌

嵐雪

皆ノもの原人馬群

水花

金ノ月也くらみハ山風

万里

波も波くらむホンゴウ

神舟

塊ノ月也くらむホンゴウ

水花

一葉國萬の原も原也

鳳凰

やまと

六月や草木そよぐ風も
かへりあを様十や 楊原^{ハシタケ}共角
牽能^{タケノ}をほくせん^{ハシタケ}の烟^{シヤウ}が
暖やきを招^{アサフ}ひと夏^{アマ}あひ立
ゆふひもれの浦^{アツシマ}より^リ百里
危寺にまあるぬあさ涼^{アサヒ}いふ
冰花

蝶子や夜鶴も側よあひう

東湖

町をやさはいつひじゆう色

ト宅

若往のもうすくらり大園旅

舟舟

故郷子や蝶子下す老々床

月下

すくへぢや藍よりゆきとこうてん

風洗

キリトリ
蘿取不候承詔うれ牡丹下

柳下

身もも手も出づりほざき

感

夕萩乃右清ヨシ人車

仙菴

鶯のものかかく歌をやねうき

久我

青りゆすりよし有りあれば

み雪

まもくに夜露かでうきと雪はふ

風子

衣川や折やぬすす花子中

遊鶴改
浮生

り蝶が月も夜かさん郭公

嵐雪

振られはもるひ移ふる。舟行
ね倉ニヨウをさへしそよす原ハラ、
也シヨウの雪シキを原ハラへゆれ、
名メイよ出ハタフ入ヘリフりむねんりふ
烟ケンすく以ヨリゑエすかカ、
故ハシマやうやう道ハシマら底ハシマを引ハシマは盡ハシマ。
火ヒのすきふみ事ハシマわらう寒素クク、
峠ヒマのすきふみ事ハシマわらう寒素クク。
五月雨ハツメやうきハツメをおりぬ大布子オハラ、百里
夜ヨクハ舟ボウを構ハシマへり、やまと
木キ鳴キツキきらはハきかカ、
白シロあアやヤあアみ同ハシマひがハシマがつうハシマ、
雲クモよヨりヨ柳シダ、
獨ハシマ意ハシマアハシマ力ハシマは更ハシマすすまハシマ、
がハシマさうや流ハシマくわのソハシマにとハシマ、水菴ミツナ

いのちる鬼神。もとあらタすイタ 神
りぬナシ 大きく病クビシ ほれ百里
鬼ケ ゆうとへ酒サケ まはつさづス か 柳玉

公所

力カツ 果ハタケ ひも まく土輸タキリ
渡カタマリ みづみうんミズミウン どのすみぶ 牧人
夕ハヤシ まちに山家ヤマガ 門ドア びに 白盒シロボウ
銀雨シルバ

有ヨリ こふ夏ハ 山吹ヤマブシ や 庭テ の 調アシ 六花
りくわの山ヤマ すくみハ 欲メ 花
一ヒ すと し い 一ヒ 鮎イワシ や と し う て え 勢花
家ヤマ くを さ く ま く ゆ が 游スル 云ク 玉砂
育カ る や あ つ か く 菴カク け け う 玉砂
水ミ も へ な ま つ ま す と く 崑クニ 夕ハヤシ
は な ひ も く よ く お ね す か 崑クニ 雪スル

この四年懐かきす

よきまことにゆき日はゆきあ

うむとおもひすてれもよ

いふあくまじめとまつら

門开くとてやうやうに

ぬせ來のゆき解半解

ほよみとせん鶴

足をもたず室屋もひ

りかよしとよしわき素

筆とせぬほんれといすへ

ヨモツヒト
青葉へとて迷うすくぬ

スミ
角うち抜かづれふ男わ夏

はるかにぬすよわれ

からむ文さむ

きくみよふかせりいも詠す

ソシモトスリ

お嬢みねぢやゆきへまよ

ちやねりとゆひゆうて

ゆゑむれぢくさくやゆめあ

本多ふみつまへさばぬくよ

題目よ魚をくらはん行ぬえ

あゆよみづ柳め寄て

今いふいふ雲ひ直うひ

水花

お嬢みね

肉ごわせんかしや魚詠歌

いふ索ハ何アはアテ庵ア有カド

祚叔

いふ唐海魚有めうび方

冰花

猿はや小石城イツの底
竹藪アシガの山ヤマを走ハタハタる風
素スズ
と表アサヒとよらヨラれハ角カツにと廉ケンの表アサヒ
櫛雲スジクモ
蒼海アヲシマや青雲アオシマを走ハタハタる雲
仙花センカ
刎橋ハナブやうづらウヅラくぬまを走ハタハタる浮生ハヤシ
直ハタハタの用ヨウあらわハタハタるや向ハタハタる政井ハセイ
魂ソウルを身カラにと書ハタハタア御音ハタハタハ何ハナハナ哉ハナハナ哉ハナハナ
嵐雪ハリス
か柳カツラをまよハタハタまよハタハタめかがりハタハタめハタハタる爲ハタハタ友ハタハタ之ハタハタ
けりハタハタ娘ハタハタと廉ケンにとハタハタきハタハタ百里ハタハタ
轟ハタハタやうのひづハタハタづハタハタみ匂ハタハタひあれハタハタ神ハタハタ乃ハタハタ
かの唐ハタハタ年ハタハタや宿ハタハタくはとハタハタみだハタハタ仙花ハタハタ
秋ハタハタのうハタハタくや此ハタハタれ夏ハタハタもとと
彦ハタハタのそる松ハタハタの枝ハタハタをわすハタハタあゆハタハタ神ハタハタ乃ハタハタ
穂ハタハタ粟ハタハタやとハタハタ持ハタハタほのぬハタハタ嵐雪ハタハタ

十六夜や島に壁了^トはるお^ッ

百里

支那や候あるとへんもん

感字

三十五日もあらまく

一月は教とすとひ、五七日

風流

きよりてあさにさるぬ月夜

翠江

獨り生のうるゝやもほよ

琴舟

去うづくまよ

まむまやおれ^{ツタ}りあれ^{ツタ}りかう付

嵐雪

徳^{トク}アヤシム^{トモ}の氣

神教

大^トに柳^リもまくともまく日

順教

あやめうきうきをまく^{トナリ}月

百里

れ櫻^{スダジイ}うみやがりが行^{トナリ}き

嵐雪

うり^{トナリ}いわくも葛^{ハグ}は藤^{カニ}が

東潮

いわくも舟^{ボウ}や廉^{ケン}ひうみつ

舟竹

方よりつがえてあつての雪が
貴はるまきよめむか雪だつ
専迹

火爐庵圖

寝のやこうの蒲團に醉ぬうち
山茶其角
いさりやうゑの流雪もんじくと小
嵐雪
埋火や灯籠ひろうかまつゆと
百里

うひ火やわき宿ウカびの跡
廉の鳴島カムのむちうタマ立
神松
櫛德セツチよゆみゆきとすすり花
落水ラスラヒや落ちる花シタハ水の鷦
夷シヅを渡りゆくれふ
夕妹
うお様シヅの初雪冥モモ水花
素ハモニいゆゆくやもハモニやも
素

小夜コノナニノシテ物モノあづきと風フウうれ

月ツキもりすム折ハシきぬむねまく神ミツ

我タガ

和ハシマや袖アシマゆめうごす夜ヨメの袖アシマ

ト宅タカ嫌ウク景ハシマのひんよがゆる夜ヨメを

月ツキ下シタあ風フウすムよじうつさくや独ハシマ伝タヒタ

こかくに袖アシマゆめの墨フタは青シオ葉ハシマが

百里ヒツリ白シロ扇ウサギや白シロ仄セウふうりともえと色カラ

氷花ヒナガ冬コナリあふあ柳アシマツうらがて川カワ

神叔ミツ犬イヌのよおかくまうと轉ハシマうれす

百里ヒツリ浮生ハシマ多ハシマ折ハシマや以ハシマも底フタ凝ハシマらうば

万里ヒツリ也ハシマいと物モノうこき師ハシマきうか

万里ヒツリ也ハシマいと物モノうこき師ハシマきうか

萬葉ハシマやサううひり鶴ハシマ上ウツ

湖月ハシマもあくハ根ハシマを捨ハシマやせん喜ハシマひ味ハシマ

樂雲ハシマやサううひり鶴ハシマ上ウツ

樂雲ハシマ

大雪ハ^{カタ}折角^{カタ}きぬちに^{カタ}あゆ

この句ハもやば國後石歌

琴下村紹^{キウシメ}心^ス方舟^{トシ}とソラ

との、十一の船戸^のくら

ノ雪よ^ヌ節^{シテ}おは亡^ム却
の感情^ハよ^シう^シれ^ル自盡^ス
と^ハあ^リま^アせ^ル向^カ也

芭蕉

紙^シあか^シき圓^{カク}一^イを^モ櫻^シ

志^シれ^シや四^シ角^{カク}に^カ切^カ一^イき^シア^シ行^ハ

氣^ヒの^フぬ^シ朧^{アラシ}か^シ三^ミの^日百^ハ里^リ

あ^シ枝^シや^シの^シを^シか^シり^シ、^シ風^シ神^シ

柳^シ原^シや^シの^シを^シか^シり^シ、^シ風^シ水^シ光^シ

當歌

野^ノ箭^{ヒル}松^ルアハ根^ス原^ア董草

スミ

仙菴

走^シの若^シ草^シ少^チ一^カ放^シめ^ス約

東南

ソウ^シ三^ミ根^シを^シも^シや^シの^シま^ス

素^イ

出^シ替^シり^シ六^シ角^{カク}壹^シの^シ孫^シ丈^シ里

水花

又^シ頬^シア^シを^シ打^シ手^シせ^シ下^シり

百里

言^シや^シ廻^シ寺^シよ^シシ^シく^シて

神林

柄^シあ^シ弓^シく^シ矢^シは^シく^シ弓^シ矢^シ亦^シ

浮生

う^シひ^シも^シや^シ候^シみ^シよ^シけ^シた^シの^シ姫

咸寧

收^シテ^シよ

水^シ空^シ乃^シ馬^シ力^シき^シあ^シせん^シ年^シの^シ轉^サヤ

嵐雪

新^シ一^シき^シわ^シ年^シ一^シ極^シの^シよ^シ仙^シ花^シ

咸寧

一^シ莖^シ枝^シも^シこ^シみ^シじ^シく^シか^シふ

舊^シ居^シ何^シ詔^シす^シノ^シ肩^シね^シく

茅^シの^シあ^シや^シキ^シわ^シれ^シ達^シの^シよ^シれ^シ

鼙

畠子カヘマシテの葉後ハタケノヒタシテ 岌雪
白妙シロミツのよ底ヨト やせなみ 冈洗

名水ナミの畠境ハタケノシモ や えのま 神叔

つゝえりツツエリ あまみの川アマミノカワ ホリケニ

氷花

山吹ヤマブキ のノ 坂ハラ たすまタスマ 百里

ゆき説ユキセツ や おとこけのオトコケノ 駒コウ

楸下

せうセウ おとこオトコ は 鹿カモ せうセウ とト 岌雪

峠雪

ゑエ や 厚根アツネ うウ 猪イノシシ 銀钩

追加

笛士ヒツジ よ 菅スゲ す 徒ハシ けケ 杜鵑

湖春

大尾

すス けケ や 女メ みミ くク 有アリ て

露沾

御皆乃とあはれのあす

序跋とぞ求ふ一

御もん在巣とするも

こまのまき

其善惡ハ向か

有

元祿甲戌年無射

神叔跋

